

森ビル デジタルアートミュージアム:エプソン チームラボボーダレス
“光の宇宙に飲み込まれる”巨大な新作発表
2024年2月9日(金)開館に向け、前売りチケットも販売中



チームラボ 《Light Vortex》 ©チームラボ

森ビル株式会社(東京都港区、代表取締役社長:辻慎吾)は、2024年2月9日(金)オープン of 「森ビル デジタルアートミュージアム:エプソン チームラボボーダレス」(以下、チームラボボーダレス)で、チームラボによる巨大な光の彫刻「ライトスカルプチャー」シリーズと、無数の光が走り続ける《マイクロコスモス - ぷるんぷるんの光》の新作2点を公開する運びとなりました。

チームラボボーダレスは、チームラボの境界のないアート群による「地図のないミュージアム」として、2018年6月に東京・お台場にオープン。麻布台ヒルズへの移転のため2022年8月に閉館しました。この度オープンする新しいチームラボボーダレスでは、境界のないアート群が、より進化し、より多くの場所へ移動し、複雑に関係し合い、永遠に変化し続ける、境界なく連続する一つの世界を創ります。チームラボは、今回の移転オープンに向けて、今回の2作品空間を含む多数の作品を制作しており、新作を含む50点以上の作品を展示する予定です。

森ビルは、チームラボとの協働を通じて世界中の人々を惹きつける新たなミュージアムを都心部に創出し、引き続き、国際都市・東京の磁力向上に貢献して参ります。

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル デジタルアートミュージアム:エプソン チームラボボーダレス 広報事務局(共同ピーアール株式会社内)
担当:高杉、日比、田ヶ谷(080-1088-7338)、秋山(080-1032-8649)、兪(ゆう)
Email: borderless-pr@kyodo-pr.co.jp

新たに発表した2作品空間について

①【新作】「ライトスカルプチャー」シリーズ



チームラボ《Tunnel into the Mirror Universe》© チームラボ

「ライトスカルプチャー」シリーズは、巨大な光の彫刻が生まれ、押し寄せ、広がり、人々を飲みこんでいく作品空間です。

“新作のライトスカルプチャーを今創っているけど、めちゃくちゃすごい。もう、空間がどうなっているか、全くわからない。宇宙に吸い込まれて、宇宙と一体化した。”(チームラボ代表 猪子寿之)

これまでもチームラボは、物質的ではない彫刻、境界面の曖昧な彫刻を創ってきました。

「なぜ、渦に存在を感じるのか？そして、それを生命にすら感じるのか？構成要素が空間的・時間的に離れていたとしても、全体に秩序が形成された時、一つの存在として認識され、時には生命のようにすら感じる。」このような考えのもと、流れ出ていく光の集合体が、生命的宇宙を創り出します。

②【新作】《マイクロコスモス - ぶるんぶるんの光》



チームラボ《マイクロコスモス - ぶるんぶるんの光》© チームラボ

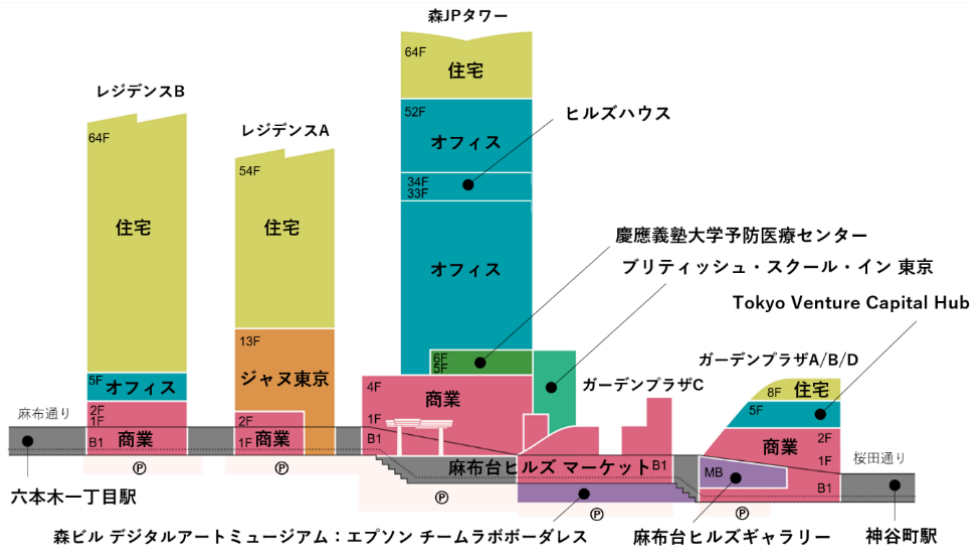
《マイクロコスモス - ぶるんぶるんの光》は、奥行きすらわからない空間の中を、無数のぶるんぶるんの光が走り続ける作品です。「構成要素が空間的・時間的に離れていたとしても、それぞれ異なった秩序が形成され、重なり合う時、それは宇宙か」を模索する作品です。ぶるんぶるんの光は、チームラボの新たなアートプロジェクト「認識上の彫刻」であり、それは、物理世界には存在せず、認識世界に存在する彫刻です。

このような作品群によって、新しいチームラボボーダレスは大きく進化していきます。

麻布台ヒルズとチームラボボーダレスについて

森ビルは、「文化」を都市づくりにおける重要な要素と位置付けて、街ごとに個性的な文化施設を創出してきました。2018年に開館した森ビル デジタルアートミュージアム:エプソン チームラボボーダレス(東京・台場)もその一つであり、チームラボとともに国際都市・東京の磁力向上に貢献してきました。

心身ともに健康で幸せに生きるウェルネスやウェルビーイングへの意識が高まってきた今、文化やアートは、人々の心を豊かにするものとして、ますます重要視されています。”Green & Wellness”をテーマとする麻布台ヒルズでは、「アートによって、自分と世界との関係と新たな認識を模索したい」と考えるチームラボの作品群が、訪れる人の感性を刺激し文化を育むことを願って、チームラボボーダレスを移転オープン。多様な文化発信をする麻布台ヒルズギャラリー、街のあらゆる場所に設置されるパブリックアートとともに、芸術・文化が一体となったミュージアムのような街を目指します。



チームラボボーダレスについて

チームラボボーダレスは、アートコレクティブ・チームラボの境界のないアート群による「地図のないミュージアム」です。境界のないアート群は、部屋から出て他の部屋へと移動し、他の作品とコミュニケーションし、影響を受け、作品同士が混ざり合います。チームラボボーダレスは、そのような作品群によって、境界なく連続する1つの世界です。人々は、境界のないアートに身体ごと没入し、「境界のない1つの世界の中で、さまよい、探索し、発見する」のです。新しいチームラボボーダレスでは、境界のないアート群は、より進化し、より多くの場所へ移動し、複雑に関係し合い、永遠に変化し続ける境界のない一つの世界を創ります。



「森ビル デジタルアートミュージアム:エプソン チームラボボーダレス」東京 © チームラボ



チームラボ《人間はカメラのように世界を見ていない》エントランス「森ビル デジタルアートミュージアム:エプソン チームラボボーダレス」東京 麻布台ヒルズ © チームラボ

麻布台ヒルズについて

麻布台ヒルズは、アークヒルズに隣接し、文化都心・六本木ヒルズと、グローバルビジネスセンター・虎ノ門ヒルズの間、文化とビジネスの両方の個性を備えたエリアに立地しています。

約 8.1ha もの広大な計画区域は圧倒的な緑に包まれ、約 6,000 m² の中央広場を含む緑化面積は約 24,000 m² を誇ります。そこに、延床面積約 861,700 m²、オフィス貸室面積約 214,500 m²、住戸数約 1,400 戸を複合的に開発。中心となる森 JP タワーの高さは約 330m、就業者数約 20,000 人、居住者数約 3,500 人、年間来街者数約 3,000 万人を見込み、そのスケールとインパクトは「六本木ヒルズ」に匹敵します。

麻布台ヒルズは、当社が理想とする「都市の中の都市(コンパクトシティ)」であり、これまでのヒルズで培ったすべてを注ぎ込んだ「ヒルズの未来形」です。



© DBOX for Mori Building Co., Ltd - Azabudai Hills



© DBOX for Mori Building Co., Ltd - Azabudai Hills

施設名称 : 森ビル デジタルアート ミュージアム : エプソン チームラボボーダレス

<https://borderless.teamlab.art/jp/>

所在地 : 麻布台ヒルズ ガーデンプラザ B B1 (東京都港区麻布台 1-2-4)

(麻布台ヒルズ <https://www.azabudai-hills.com>)

開館日 : 2024 年 2 月 9 日 (金)

開館時間 : 10:00 - 21:00

*最終入館は閉館の 1 時間前

*開館時間に変更になる場合がございます。公式ウェブサイトをご確認ください。

休館日 : 第一・第三火曜日

*休館日に変更になる場合がございます。公式ウェブサイトをご確認ください。

チケット価格 : 大人 (18 歳以上) : 3,800 円～

中学生・高校生 (13 - 17 歳) : 2,800 円

子ども (4 - 12 歳) : 1,500 円

3 歳以下 : 無料

障がい者割引 : 1,900 円～

*事前日時指定予約制です。

*大人と障がい者割引につきましては変動価格制を導入し、日によって金額が異なります。日別の価格をご確認の上、日時指定チケットをお買い求めください。

*現地での購入の場合、上記価格に +200 円となります。

チケット購入 <https://borderless.teamlab.art/jp/>

プレスキット <https://www.dropbox.com/sh/ktiauv5xq8s0jzr/AAASjm3y4EKWTqRidKoIuCM5a?dl=0>

お問い合わせ <https://www.teamlab.art/jp/contact/>